

FD研修会報告

インストラクショナルデザイン ワークショップ IN 福井

講師：内田実先生（(独)メディア教育開発センター 特定特任教授）

日時：2006年7月3日～4日

場所：共通講義等L104教室

参加者：9名（生物資源学科教員8名、情報センター1名）

－研修内容－

学習者にとって学習効果が高く、学習効率がよく、魅力のある学習を提供すること、また、教育者として教育効果が高く、教育開発実施全体で教育効率がよく、自分自身でもその教育に誇りと魅力を見出せる教育を実施すること、これらを実現する方法論、プロセスとしてインストラクショナルデザインが提唱されている。今回は、「ID」詳細企画書を実際に作成し、eラーニングコンテンツを開発するという事例を用いて、実際にこのインストラクショナルデザインプロセスを体験した。

「IDの教員への普及」詳細企画書作成概要

項目	内容
タイトル名	IDを普及する
教育ゴール	福井県立大学の教員各位にIDを理解してもらい、効率が良くかつ効果的・魅力的な授業を行ってもらえるように、ニーズ分析に基づく授業設計と指導を普及する。
対象者	本学の教職員
学習目標数	項目
使用メディア	WEB（eラーニング）
学習支援方法	別途企画する
学習時間	60分（コンテンツの単純延べ動作時間） 実学習時間は1～2週間
コンテンツ構造	興味を引き自分との関係に気づかせたあと、説明とノートの作成を繰り返す。また、学習の開始時、終了時等に自分のレベルを自己評価する。
既存資料・関連教材	色々な関連資料はあるが、学習の中では直接は利用しない
評価方法	学習者の自己レベルチェックを開始時と終了時におこなうことにより評価する
制作期間	3ヶ月
制作プロジェクトリーダー	NIME 山村
制作コスト	見積もりコスト3,000千円(実開発費ではない)